大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F140310110758	設置等組織名	情報工学部　情報マネジメント学科
大学名	福岡工業大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	福岡	事業計画名	福岡工業大学　情報工学部における情報マネジメント学科の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	2-①令和5年9月　当該学科教員増のため、研究室・卒業研究室4室の改修 2-②令和5年9月　当該学科実験室設置、並びに関係設備（パソコン、Wi-fi設備、PCソフト）の整備 2-③令和5年9月　当該学科演習室A設置、並びに関係設備（パソコン、Wi-fi設備、PCソフト）の整備 2-④令和5年9月　当該学科演習室B設置、並びに関係設備（パソコン、Wi-fi設備、PCソフト）の整備 2-⑤令和5年9月　研究室・卒業研究室・実験室・演習室の順設に対応し、学科事務室及び学科会議室改修 2-⑥令和5年10月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための設備類（映像音響システム、講義収録配信システム、入退室管理システム）の整備 2-⑦令和5年10月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施	2-①令和5年8～3月　教員増のため、研究室・卒業研究室4室の改修 2-②令和5年3月　当該学科実験室設置、並びに関係設備（Wi-fi設備、プロジェクター、電源設備）の整備 2-③令和5年3月　当該学科演習室A設置、並びに関係設備（Wi-fi設備、プロジェクター、什器、電源設備）の整備 2-④令和5年3月　当該学科演習室B設置、並びに関係設備（Wi-fi設備、プロジェクター、什器、電源設備）の整備 2-⑤令和5年2～3月　研究室・卒業研究室・実験室・演習室の順設に対応し、学科事務室及び学科会議室改修 2-⑥令和5年2～3月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための設備類（映像音響システム、講義収録配信システム、入退室管理システム）の整備 2-⑦令和5年12～3月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	3-①令和6年4月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施 3-②令和6年9月　新学科教育・研究活動報告書広報誌の作成 3-③令和6年10月　学科開設記念講演会・シンポジウム開催 3-④令和6年10月～令和10年3月　映像音響システム・講義収録システム・コンテンツ配信システム保守	3-①令和6年4月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施 3-②令和6年6月　新学科教育・研究活動報告書広報誌の作成（R6.10.4承認） 3-③令和6年6月　学科開設記念講演会・シンポジウム開催（R6.10.4承認） 3-④令和6年10月～3月　映像音響システム・講義収録システム・コンテンツ配信システム保守	令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	3-①令和7年4月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施 3-②令和6年10月～令和10年3月　映像音響システム・講義収録システム・コンテンツ配信システム保守	3-①令和7年4月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施 3-②令和6年10月～令和10年3月　映像音響システム・講義収録システム・コンテンツ配信システム保守	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	3-①令和8年4月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施 3-②令和6年10月～令和10年3月　映像音響システム・講義収録システム・コンテンツ配信システム保守		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	3-①令和9年4月　オンライン教育デジタルコンテンツ作成のための収録・編集の実施 3-②令和6年10月～令和10年3月　映像音響システム・講義収録システム・コンテンツ配信システム保守		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和5年3月　情報工学部情報マネジメント学科　収容定員の総数の増加　認可申請予定 令和5年4月　情報工学部情報マネジメント学科　設置届出予定	令和5年3月　情報工学部情報マネジメント学科　収容定員の総数の増加　認可申請 令和5年4月　情報工学部情報マネジメント学科　設置届出		
定員減又は 学部等の廃止	令和5年7月　情報工学部　システムマネジメント学科　学生募集の停止の報告予定（入学定員65人、工学関係）	令和5年7月　情報工学部　システムマネジメント学科　学生募集の停止の報告（入学定員65人、工学関係）		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	福岡工業大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。☐

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
☐ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
☐ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報マネジメント学科では、専門教育科目として「情報マネジメントプロジェクト演習」を必修科目として配置し、学科における経営工学・データサイエンス分野の学びを、地域自治体・企業が抱える課題の解決へと還元を行い、実践的な力を養う深い学びへと繋げる教育を実施する計画である。具体的には、包括連携協定先である「福岡県古賀市」「福岡県新宮町」や「福岡県警察本部」などが抱えるふるさと納税関連や小学生向けデータサイエンス教育の展開、横断歩道での交通事故削減など種々の課題に対して、情報マネジメント学科の複数教員でクラスターを構成して学生は研究室横断型プロジェクトに取り組む計画である。	「情報マネジメントプロジェクト演習」は3年次通年科目であるため、2026年の開講を予定しているが、学科における経営工学・データサイエンス分野の学びを、地域自治体・企業が抱える課題の解決へと還元を行い、実践的な力を養う深い学びへと繋げる教育を実施する計画である。具体的には、包括連携協定先である「福岡県古賀市」「福岡県新宮町」や「福岡県警察本部」などが抱えるふるさと納税関連や小学生向けデータサイエンス教育の展開、横断歩道での交通事故削減など種々の課題に対して、情報マネジメント学科の複数教員でクラスターを構成して学生は研究室横断型プロジェクトに取り組む計画である。 なお、2025年度の実績としては、新学科の母体となる既存のシステムマネジメント学科において、岩戸小学校（那珂川市）、立花小学校（新宮町）、相島小学校（新宮町）に対して、「小学校でのICT体験授業」を実施した。このように外部機関との連携を着実に実施し、2026年度の本開講に向けて準備を進めている。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

☐ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
☐ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
☐ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報マネジメント学科の開設に向けて、大学案内やキャンパスガイド、パンフレット等の印刷物の配布をはじめ、HPや高校生向けのSNS等の電子媒体による情報の提供、新聞・雑誌・車内広告等の各種メディアを活用したPR活動を行うとともに、資料請求者に対するダイレクトメールによる各種情報の提供を行っている。とりわけ、女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組として、女子学生が安心して学修できる環境をPRするための特設ページの制作や福岡工業大学の女子学生が制作したフリーペーパー「FIT GIRL」の発行など幅広い取り組みを展開している。また、地域の初等中等教育段階の学校との連携として、福岡県立新宮高等学校理数科の1年生を対象とする「English Training Program」として、AI・データサイエンスに関する研究内容を交えながらグローバル環境における理系人材における英語の重要性についてセミナーを行っている。令和5年度も6月に行う予定であり、新学科開設後も連携が見込まれる。	情報マネジメント学科への多様な入学者の確保に向けて、高校訪問による案内、オープンキャンパスの開催、大学案内やキャンパスガイド、パンフレット等の印刷物の配布をはじめ、HPや高校生向けのSNS等の電子媒体による情報の提供、各種メディアを活用したPR活動を行った結果、2026年度入試の実績として「女子学生の志願者数は201人（前年比10人減）、入学者数は29人（前年比13人増）」となり、女子学生の入学者数は過去最高となった。なお、本学全体では、「女子学生の志願者数は1,941人（前年比18人増）、入学者数は203人（前年比8人増）」となり、女子入学者数が初めて200人を超え、過去最高の結果となった。 特に効果があった取組として、受験生サイト内にて「FIT GIRLS～福工大で活躍する女子学生～」というページを設け、女子学生のインタビュー動画や、就職実績・休験談の掲載を行っている。この取組みより、女子学生が安心して学生生活を送ることができる安心感の醸成やPRを図っている。 また、地域の初等中等教育段階の学校との連携として、福岡県立新宮高等学校と継続して、高大連携の取組を実施している。併せて、岩戸小学校（那珂川市）、立花小学校（新宮町）、相島小学校（新宮町）に対して、「小学校でのICT体験授業」を実施した。	

大学名	福岡工業大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	情報工学部　情報マネジメント学科（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
				改組状況	届出	開設			完成年度														
事業計画に定める定員		入学定員	人		90	90	90	90															
		編入学定員	人		-	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	90	90	90																
		入学者数	人	-	103	99	111																
		女子学生数	人	-	16	16	29																
		社会人学生数	人	-	0	0	0																
		留学生数	人	-	0	0	0																
	その他の学期	入学定員	人	-	0	0	0																
		入学者数	人	-	0	0	0																
		女子学生数	人	-	0	0	0																
		社会人学生数	人	-	0	0	0																
		留学生数	人	-	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	90	90	90																
		入学者数(B)	人	-	103	99	111																
		女子学生数	人	-	16	16	29																
		社会人学生数	人	-	0	0	0																
		留学生数	人	-	0	0	0																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	1.14	1.10	1.23																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	90	180	270																
		編入学定員	人	-	-	-	0																
		在籍者数(D)	人	-	103	201	310																
		編入学者数	人	-	-	-	3																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	1.14	1.12	1.15																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	8	8	8																
		授業科目の単位数	単位	-	114	100	100																

大学名	福岡工業大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	755	780	780	780															
		入学者数	人	852	884	919	997															
		女子学生数	人	94	119	148	148															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	2	7	6															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0	0															
		女子学生数	人	0	0	0	0															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	755	780	780	780															
		入学者数(B)	人	852	884	919	997															
		女子学生数	人	94	119	148	148															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	2	7	6															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.13	1.13	1.18	1.28															
	収容定員等	収容定員(C)	人	3,020	3,045	3,070	3,095															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	3,446	3,530	3,782	3,709															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.16	1.23	1.20															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	702	792	765																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	44	44	42	43															
		授業科目の単位数	単位	494	494	442	440															

大学名	福岡工業大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	915	940	940	940															
		入学者数	人	1038	1069	1128	1208															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	915	940	940	940															
		入学者数(B)	人	1,038	1,069	1,128	1,208															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.13	1.14	1.20	1.29															
	収容定員等	収容定員(C)	人	3720	3745	3770	3795															
		編入学定員	人	30	30	30	30															
		在籍者数(D)	人	4154	4252	4334	4531															
		編入学者数	人	12	11	17	17															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.12	1.14	1.15	1.19															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定	開設			完成年度									
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	164,010	237,397	202,527	222,691	231,495	231,115	207,889	229,076											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	218,905
本事業による助成金の額(F)	千円	117,405
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	221,840

特記事項